

Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成18年12月 4日 作成
平成19年12月26日 更新
BOX No.138602

車両情報

ホンダ エディックス
平成18年11月～

BE#系 1/2ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

① ES-89ProLight II (ESL24) のみ取り付け可能

① 注意事項：全車

- エンジンイモビライザーシステム、及びセキュリティアラームが、全車標準装着されています。
- この車両には、ES-89ProLight II (ESL24) のみ取り付けが可能です。
- 取り付けの際は、H-2イモビ対応ユニット (FOH02) を使用します。
- 詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

① 使用上の注意事項

- スマートキー付き車にエンジンスターターを取り付けする場合は、使用上の注意事項があります。2/2ページを必ず参照してください。

① 運転席側カバー類の外し方

- アンダーカバーを外す。(ノブを左側に90度回してから、下側へ引っ張り手前のフックを外す)
- 右側の小物入れを外す。
- ヒューズBOXカバーを外す。(小物入れを外した下側内側にネジ1本)
- コラムカバーを外す。(下側からネジ3本)
※スマートカードキー付き車は、カバーを外す前に、キー回転ノブを先に外すこと。キー回転ノブは、ノブ下側の穴からマイナスドライバーにてツメを押して内部のカバーを外してから、内側にあるネジ2本を外すと、ノブが抜けます。

コラムカバー内下側
キーシリンダ直付け

専用ハーネス

VH116



① ドアロック/アンロック、及び純正セキュリティアラームについての注意事項は、2/2ページを参照してください。

キーシリンダ右上側の
イモビアンブユニット裏側
緑色7Pカブラ

H-2イモビ対応ユニット

7Pコネクタを割込接続

① イモビライザー装着車

イモビアンブユニット裏側
緑色7Pカブラ



Pブレーキ(橙)

緑

① スマートキー付き車

イモビアンブユニット下側
緑色10Pカブラ



ドア(紫)

青

① スマートキー無し車

イモビアンブユニット裏側
緑色6Pカブラ



ドア(紫)

青

A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について)
配線・受信機取り付け終了後、
下記の手順で設定を行ってください。

- 車両のキースイッチをONにする。
- リモコンでSTOPを押す。
- 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)Pレンジに戻す。
- 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

止めネジ等



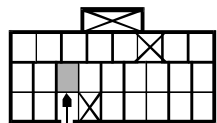
L端子(茶)

白/青

① アンダーカバーを外した
内側にC/Uがあります。

PGM-FI
C/U

C/U内下側 左から2番目
白色24Pカブラ

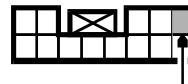


Pブレーキスイッチ
白色1Pカブラ



① ナビゲーション付き車

コラムカバー内上側
白色13Pカブラ

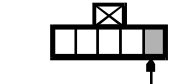


ホーン(緑)

青

① ナビゲーション無し車

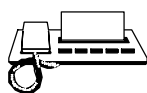
コラムカバー内上側
白色5Pカブラ



ホーン(緑)

青

① 機能付き機種のみ配線



Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成18年12月 4日 作成
平成19年12月26日 更新
BOX No.138602

車両情報

ホンダ エディックス
平成18年11月～

BE#系 2/2ページ

ES-89ProLight II (ESL24) のみ取り付け可能

ES-89Light

Type N.L.

Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

① 使用上の注意事項：スマートキー付き車のみ

※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

①スマートキーによるエンジン始動はできません。
…以下は、その理由

- ・エンジンスターターでアイドリング中と、STOP操作等でエンジンを止めた後は、キーのノブがロックされて回らなくなるため。…車両の構造なので、異常ではありません。1回エンジンキーにてノブを回せば、その後はノブのみで回るようになります。

②必ずエンジンを止めてから乗車してください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、又はドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。
…以下は、その理由

- ・エンジンを止めずに乗車して、エンジンキーでノブをONすると、走行中に車両のセキュリティーインジケータ（キーの形をした緑色のLED）が常に点滅したままになるため。

③乗車後は、必ずエンジンキーで始動してください。（キーを差し込んで、回してエンジンをかける）
…理由は、上記①と同じ。

① 特有の注意事項（使用できない機能等について）

・オートロック機能は、使用できません。

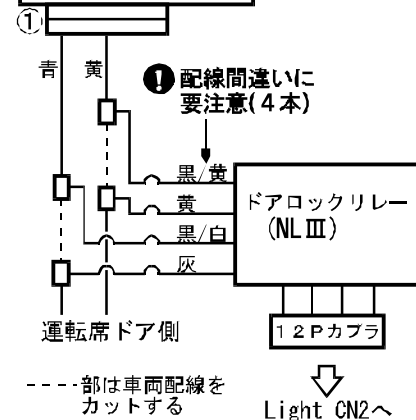
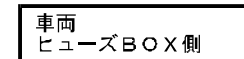


① ドアロック・アンロック

ヒューズBOX内中央
リレーの上側
若菜色14Pカプラ



① ドアロックリレーNLⅢが必要です。



配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

① セキュリティアラーム（全車標準装着）についての注意事項…必ずお読みください。

- ・この車両には、ES-89ProLight II (ESL24) のみ取り付けが可能です。…その他のモデルについては、取り付けはできません。
 - ・車両のドアロック/アンロックは、必ずエンジンスターターのリモコンの操作で行ってください。
 - ・車両に装着されているセキュリティアラーム（盗難警報装置）は、エンジンスターターでのロック/アンロック操作では、セット/解除されません。…セキュリティー（警報）機能を利用したい場合は、エンジンスターターのセキュリティー機能（リモコンのSET/RESET操作）を使用してください。（基本的に、車両のセキュリティアラームは、使用しないでください。）
 - ・車両のキーレスエントリー、またはスマートカードキー等の操作でドアロックを行った場合、車両のセキュリティアラームがセットされます。この状態（車両のセキュリティー作動表示灯が点滅している）で、エンジンスターターで始動すると、セキュリティアラームが作動して警報のホーンが鳴り続けます。…警報を止めるには、車両のキーレスエントリー、またはスマートカードキーの操作等でアンロックをしてください。
 - ・セキュリティアラームとエンジンスターターのセキュリティー機能は、併用（同時に使用）しないでください。…操作の間違い等で、いずれかの警報が作動する場合があります。
- ※お客様の都合により、エンジンスターターのセキュリティー機能を使用せず、車両のセキュリティアラームを使用する場合は、必ず車両のキーレスエントリー、またはスマートカードキー等でロック/アンロック操作を行いセット/解除を行ってください。但し、セキュリティアラームをセットして警戒中には、エンジンスターターによるアイドリング、及びリモコンによるアンロックは使用できません。…セキュリティアラームが作動して、警報（ホーン）が鳴るため。

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。

専用ハーネス
H116
VH116

(例)



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。